

越前市 ため池ハザードマップ

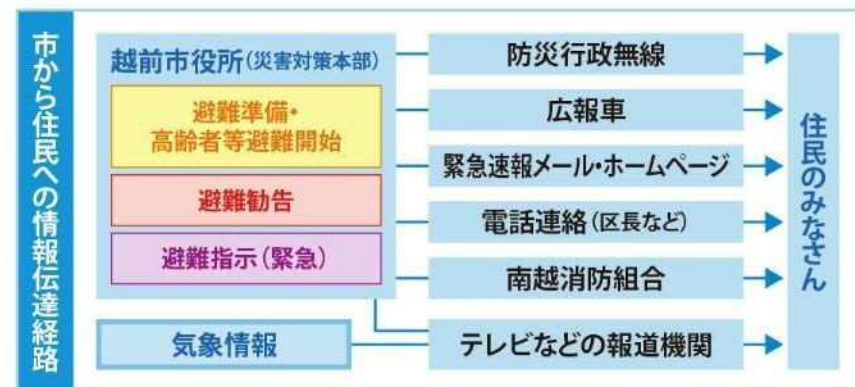
このハザードマップは、大雨等により、万が一ため池が決壊するおそれがある場合の備えとして、安全な避難行動に役立つための情報を提供する目的で作成しました。

- 日頃から家族やご近所で災害への対応について話し合い、家から避難場所までの経路などを書き込んで確認しておきましょう。
- 浸水の発生しやすい場所や状況を日頃から把握し、危険を感じたら自主避難を心がけましょう。
- いざというときに落ち着いて行動できるよう、日頃から災害に関する正しい心構えを身につけておくことが大切です。

発行元 越前市 産業環境部 農林整備課 TEL. 0778-22-3008 (令和2年12月作成)

避難情報の伝達経路と、とるべき行動

越前市では、災害発生のおそれのあるときや災害の発生が確実なときには、『災害対策本部』を設置して対応します。また、災害の危険性が高まり、避難が必要となる場合には避難情報を発令します。



災害の発生が予想される状況では、ラジオ・テレビなどで正確な情報を収集し、適切な行動をとってください。また、周りの様子にも注意しましょう。

ため池の異常に気付いたら、すぐに緊急時連絡先へ通報してください!

緊急時連絡先(0778)

越前市役所	22-3000(代)
南越消防本部	21-0119(代)
越前警察署	24-0110(代)

警戒レベルと避難情報

令和元年6月から、避難情報等に加えて、住民が情報の意味を直感的に理解できるよう、5段階の警戒レベルを提供し、とるべき行動が明確化されました。警戒レベルに応じて、適切な避難行動をとってください。

警戒レベル	避難情報等	発令時の状況	とるべき行動
警戒レベル5	災害発生情報	すでに災害が発生している状況です	●命を守るための最善の行動をとりましょう。 ●また、この段階では安全な避難が難しい場合があるため、レベル3・レベル4の段階で安全に避難を終えましょう。
警戒レベル4	避難指示(緊急) 避難勧告	いまずぐ安全な場所へ全員避難	●速やかに避難場所へ避難しましょう。 ●公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル3	避難準備・高齢者等避難開始	高齢者や要介護者等は避難	●高齢者、障がいのある方等、避難に時間のかかる方とその支援者は避難を開始しましょう。 ●その他の方は、避難の準備を整えましょう。
警戒レベル2		ハザードマップなどで避難行動を確認しましょう	●災害の危険性のある区域、避難場所、避難経路、避難のタイミングを確認してください。
警戒レベル1		最新の防災気象情報などを確認しましょう	●災害への心構えを高めてください。

※令和2年12月時点の情報です。法改正により変更される可能性がありますので、最新の情報をご確認ください。

情報の入手先

越前市ウェブサイト

●市からの情報を確認することができます。

<http://www.city.echizen.lg.jp/> 越前市 検索

福井地方気象台

●気象情報を確認することができます。

<http://www.jma-net.go.jp/fukui/main/index.html> 福井地方気象台 検索

福井県 河川・砂防総合情報システム

●県内の河川や土砂災害に関する情報を確認することができます。

<http://ame.pref.fukui.jp/> 福井県 河川砂防 検索

川の防災情報

●川の水位情報などを確認することができます。

<https://www.river.go.jp/> 川の防災情報 検索

越前市緊急メール 丹南CATV ライフラインメールサービス

●越前市の緊急情報等をメールで配信する、入会費・年会費無料のサービスです。
ライフラインメールサービス 登録ページ → <http://message.t-catv.co.jp/>

配信を希望される方は、「丹南CATV ライフラインメールサービス」のページへ接続し、画面の案内に従って登録してください。
※右のQRコードを読み取って接続することもできます



こんなときは要注意!



大雨のとき、ため池の水位が上昇し堤防を越えた水の勢いによって堤防が浸食され、決壊することがあります。竹や流木が洪水吐の断面を閉塞させると、堤防を越流しやすくなり、浸食・崩壊の危険性は、一層高くなります。



大地震のときに、ため池の堤防が異常な力を受け亀裂が生じたり、地盤の液状化により決壊する危険性があります。比較的小さな地震でも、堤防の内部に生じた亀裂などにより強度が低下し、水圧に耐えきれず決壊に到ることがあるので注意が必要です。

雨の強さと降り方(1時間雨量)

やや強い雨 10~20mm未満	強い雨 20~30mm未満	激しい雨 30~50mm未満	非常に激しい雨 50~80mm未満	猛烈な雨 80mm以上
地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。	どしゃ降りの雨。傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。寝ている人の半数くらいが雨に気がつきません。	バケツをひっくり返したような激しい雨。道路が川のようにになります。	滝のように降る激しい雨。傘はまったく役に立たなくなります。水しぶきであたり一面が白っぽくなります。	息苦しくなるような圧迫感があるほどの猛烈な雨。車の運転は危険です。災害が発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要です。

※気象庁資料参照

避難の心得

状況により、すばやく避難しましょう

避難情報などが発表されていなくても、雨の状況などから判断し、自主的に避難しましょう。



家族にはメモを残そう

外出中の家族には、「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくといいでしょう。



防災メモを持とう

高齢者や子どもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。



集団で助け合おう

単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。



持ち出し品は最小限に

非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。



避難施設では指示に従いましょう

避難施設に着いたら、係の人の指示に従い、住所・氏名を報告しましょう。



ため池の役割

ため池は、雨が少なく、大きな河川から離れた地域等で、農業用水を確保するために、水を貯めておく人工的な池のことです。

水辺空間の形成

都市化の進行や開発によって緑や水辺空間が減少する中、水に親しむことのできる場所を提供しています。

防災としての役割

大雨時の洪水調節や、火災時の防火用水としての役割があります。

農業用水としての役割

雨が少ない地域では、古くから農業用水をため池に貯め、利用しています。